

松山市民病院のあゆみ

昭和

- 31年 6月 松山市城西地区の医療機関として松山市民病院（20床内科・外科）発足（1956）
- 32年 8月 愛生分院（結核）80床発足
- 36年 8月 産婦人科新設 新病棟完成（135床）
- 39年 6月 救急病院の指定を受ける
- 39年 11月 財団法人永頼会設立（1964）
- 41年 2月 眼科、耳鼻咽喉科新設
- 41年 3月 総合病院の指定を受ける
- 42年 1月 脳神経外科、麻酔科新設
- 42年 9月 松山中央乳児保育園開設
- 44年 9月 病棟増築（237床）
- 46年 1月 整形外科、皮膚科新設
- 49年 7月 新病棟（後にS棟）完成（503床）（1974）



↑ S棟完成（左側が北）

平成

- 51年 8月 泌尿器科新設
- 52年 1月 小児科新設
- 53年 12月 管理棟（永頼会館）完成（1978）
- 55年 1月 放射線科新設
- 63年 10月 ICUの承認を受ける
- 6年 7月 歯科新設
- 6年 11月 新病棟（後にN棟）完成（538床）（1994）
- 7年 4月 形成外科新設
- 9年 9月 歯科・口腔外科新設
- 9年 11月 呼吸器科、消化器科、循環器科、リハビリテーション科新設
- 15年 4月 臨床研修病院指定
- 15年 5月 心臓血管外科新設
- 16年 9月 病院機能評価認定（Ver.4.0）
- 17年 3月 外来化学療法室開設
- 19年 7月 オーダリングシステム導入
- 21年 9月 病院機能評価更新認定（Ver.6.0）
- 22年 7月 DPC（診断群分類包括評価）制度導入
- 24年 4月 院内保育所「えいらいキッズ」開設
- 25年 4月 一般財団法人に移行、ER（救命救急）開設
- 26年 4月 新S棟第1期オープン（432床）、電子カルテシステム稼動（2014）

N棟完成→
左より
永頼会館
（白い建物）、
N棟、S棟



新S棟建て替え
工事着工→



松山市民病院落成式→
（昭和31年）
木造2階建て

松山市の主な出来事

（松山市ホームページより引用）

昭和（1956～1989）

- 31年 12月 NHK松山放送会館が堀之内に完成
 - 33年 12月 愛媛県みかんが全国果実品評会で1位となる
 - 36年 1月 全国初の気動車区が国鉄松山駅に発足
 - 37年 12月 全日空、松山～高松～東京間航空路が開通
（所要時間2時間20分、料金9800円）
 - 39年 10月 国鉄松山駅の改装が完成
 - 41年 7月 松山市の人口28万を超える
松山城のリフトが完成
 - 62年 4月 市総合コミュニティセンター全施設開場
- 平成（1989～）
- 4年 7月 松山市の人口45万人を突破
（四国初、全国27番目）
 - 6年 8月 石手川ダムの貯水量ゼロに
12月 道後温泉本館が国の重要文化財に指定
 - 12年 4月 坊ちゃんスタジアム落成
 - 13年 3月 芸予地震発生
坊ちゃん列車が半世紀ぶりに復活
 - 17年 1月 松山市に北条市、中島町が編入合併
四国初の50万都市に



↑ 新S棟第1期オープン
（三番町筋より東側3分の2が完成）

↓ 地図で見る松山市民病院の変遷

